家庭教育支援事業

“新”家庭教育宣言

家庭教育委員会

“新”家庭教育宣言とは？

令和４年度 実践報告会

“新” 家庭教育宣言 目次

1　会長あいさつ …… 1

2　“新” 家庭教育宣言とは …… 2

3　“新” 家庭教育宣言 取り組み方法・スケジュール（活動費の助成）について

（1）単位PTAでの取り組み方法・推進方法について …… 4

（2）スケジュール …… 5

（3）家庭での目標づくりの例 …… 6

（4）取り組み確認用フローチャート …… 7

4　令和４年度 “新” 家庭教育宣言事業報告

（1）取り組み概況 …… 9

（2）アンケート結果報告 …… 10

（3）推進活動費を受給した単位PTAの紹介 …… 11

5　令和４年度 “新” 家庭教育宣言実践報告会 発表校資料

（1）「子どもと家庭と学校と地域の和（輪）」～対話で育む人の繋がり～

〔南筑後ブロック〕大牟田市立天領小学校父母教師会 …… 13

（2）大人が変われば、子どもも変わる～親子で秋月チャレンジ～

〔北筑後ブロック〕朝倉市立秋月小学校父母教師会 …… 19

（3）ノーメディアチャレンジ～家庭学習習慣の定着に向けて～

〔京築ブロック〕みやこ町立勝山中学校PTA …… 25

福岡県PTA連合会 “新” 家庭教育宣言
ホームページQRコード

※この事業の運営については、福岡県PTA連合会「小中学生総合保障制度」「PTA活動災害保障制度」の集金事務手数料の一部を活用しています。

ご あ い さ つ

会員の皆様には福岡県ＰＴＡ連合会に対しまして、ご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。

また、本年度も“新”家庭教育宣言に多くの皆様にお取り組みいただきましたことを、重ねて御礼申し上げます。

さて、家庭教育の重要性を伝えるために実施してまいりました福岡県ＰＴＡ連合会の家庭教育支援事業「“新”家庭教育宣言」は、本年度で18年目を迎えています。昨年に引き続き新型コロナウイルスの終わりは見えず、子どもたちの生活様式等は大きく様変わりする中で、新しい年を迎えました。このような状況に子どもたちも保護者も戸惑いつつ、試行錯誤しながら前に進む毎日だったことでしょう。しかし、このような時だからこそ改めて家庭教育の大切さ、必要性を再認識されたのではないでしょうか。

私たちが長年取り組んでいますこの「“新”家庭教育宣言」は、各単Ｐにアンケートのご協力をいただき、必要とされる事業内容になるように、委員会を中心に計画されてきました。

今後も皆様方におかれましては、各家庭に於いて家庭教育の重要性をご理解され、取り組みを行っていただき、『教育の原点は家庭にあり』という基本を私たち大人が再認識する良い機会であると共に、家庭内でのコミュニケーションの大切さを実感できる取り組みとしていただきたいと考えております。

今年度は、本会の基本方針として『時を刻む　学びと交流～子どもたちのために協働的活動を～』を掲げて活動しています。平成から令和へと時代が移り変わっても、保護者が子どもを思う気持ちは変わらないと思います。時代の変化を敏感に捉え、様々な機会で私たち自身が学び、その成果を家庭教育へと繋げていく。このことこそがＰＴＡが社会教育関係団体であるといわれる所以であります。家庭、学校、地域をつなぐ要となることが求められつつある昨今、私たち大人の役割は益々重要になってきました。

むすびに、本事業の継続で、皆様が家庭教育を見つめなおす良い機会となりますこと、そして何よりも、子どもたちの素晴らしい未来をお祈り申し上げ、あいさつといたします。

令和５年３月吉日

福岡県ＰＴＡ連合会

会 長　松尾　和昭

子どもたちの心の成長と保護者の子育

子どもたちの素晴らしい未来のために

子どもたちの健やかな成長を願う気持ちは、保護者として当然の思いです。子どもたちが大人になってから、自分の力で素晴らしい人生を切り拓いていく力は、家庭でしっかり身につけさせる事が必要です。

しかしながら、なかなか思い通りにいかないこともあるのが子どもの教育であり、躾（しつけ）ではないでしょうか。

家庭教育力の向上を目指して

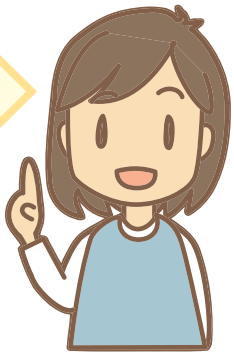
家庭教育は、すべての教育の出発点として、乳幼児期からの親子の愛情や家族とのふれ合いを通じて、子どもが基本的な生活習慣や、他者への思いやりや善悪の判断、自立心や社会的マナー、規範意識などを身に付けていく上で重要な役割を担っています。また、子どもたちがやる気をもって前向きに生きていく力の源となる自尊感情（自分への自信につながる気持ち）や自己肯定感（自分はかけがえのない存在であると思う気持ち）は、家族の愛情に包まれながら家庭内で育まれていく事が理想的であり、これらは子どもたちの心の成長の中で一番大事な根幹の部分ではないかと思います。

“新” 家庭教育宣言とは

福岡県 PTA 連合会では「家庭での子育て力向上」を目指して、平成 17 年度から『“新” 家庭教育宣言』を行っております。この事業は、家庭において親子で相談しながら努力目標を宣言し、その実現に向けて家族ぐるみで取り組むものです。

この事業・実践の継続により、家庭内での親子の関わり方など、新たな気づきを生み出すきっかけづくりになったと感じています。

福岡県 PTA 連合会としては、各単位 PTA でのニーズに合わせて取り組む、このような活動を最優先事項と考え、今後もこの事業の更なる充実を図って参ります。



ての意識を高める“新”家庭教育宣言

家庭での子育て力を高めよう

〈家庭応援サイクル〉

子どもの学ぶ意欲、自尊感情、規範意識が向上し
基本的生活習慣を身につける

取り組みの成果を評価して、継続しよう。

Step up

親子で話そう
（コミュニケーション）
目標に向かって
意識づけしよう

目標の設定
無理せず
子どもの発達段階に応じて
親子で決めよう

親子で取り組もう
わかりやすい所にはって
挑戦しよう

結果を確認
感想を書き
出来たことを親子で
ほめ合おう

“新”家庭教育宣言　取り組み推進方法・

1．単位PTAでの取り組み方法・推進方法について

①各単位PTAにおいて、PTA会員ひとりひとりの理解を深めて頂けるように、家庭教育の重要性並びに、“新”家庭教育宣言の趣旨、具体的な取り組み方法についての説明文を配付したり、学校内での集会等の機会を活用して説明したり、周知を図りましょう。

②全学年を対象に、児童生徒の実態や課題に即した実施要領（取り組み事項）を策定し、それに基づいた事業を計画的に推進しましょう。（必要な場合は推進活動費の申請）

③令和５年度の取組方法や推進活動費の応募方法等、内容に関する詳細については、各学校に発送します“新”家庭教育宣言実施要項及び福岡県ＰＴＡ連合会ホームページにて６月に配信予定の“新”家庭教育宣言動画説明をご覧ください。

活動費の助成についてのスケジュール

2．スケジュールについて

❶ “新”家庭教育宣言説明会➡福岡県 PTA 連合会ホームページで説明動画を視聴

❷ “新”家庭教育宣言の取り組みについて（様式１）の提出【６月 30 日（金）締切】

❸ 推進活動費（１万円・２万円・３万円）助成の有無を検討

推進活動費　希望する	推進活動費　希望しない
❹ 応募届を提出（様式２） 【応募期間６月９日（金）～７月 31 日（月）】 ※予算の範囲内で先着順に決定	❹ 各単位 PTA で取組実施
❺ 決定通知・振込　【８月上旬予定】	
❻ 各単位 PTA で取組実施	
❼ 報告書（様式３） 決算書（様式４） 単Ｐ会長アンケートの提出（様式５） 【提出締切：令和６年１月 31 日（水）】	
“新”家庭教育宣言実践報告会【令和６年２月開催予定】	

※推進活動費を受けられた単位 PTA の中から、実践報告会での発表をお願いしております。
県Ｐ家庭教育委員会で選考の上、該当校に連絡をしますので、ご協力をお願いいたします。

3．家庭での目標づくりの例

家庭での基本的生活習慣

●ノーテレビ・ノーメディア・ノーゲーム
（○時～○時まで見ない）
●言葉遣いに気を付けよう
●おうちのお手伝いや仕事をしよう
●早寝、早起き、朝ごはん

家庭での挨拶運動

●ありがとうを言おう
（１日○人の人に言おう）
●親子でハイタッチ
●大きな声であいさつをしよう

家庭でのコミュニケーション

●親子のコミュニケーションの時間を増やそう
●スマホ「夜 10 時 OFF」
●今日あった出来事（学校や友達）を話そう
●親子で読書、親子でスポーツ
●親子で決めよう、我が家のルール

家庭での食育

●親子で料理
（料理のお手伝いを１つしよう）
●お弁当の日
●色の野菜を食べよう

家庭での学習

●宿題をしよう
（家族に確認してもらおう）
●自学をしよう
●音読をしよう
●時間を決めて勉強しよう

4．取り組み確認用フローチャート

うちのPTAは"新"家庭教育宣言に取り組んでいるのかしら？
※いずれか1項目でも当てはまれば・・・

START ➡

早寝・早起き・朝ごはんの取り組みを行っている？

Yes ➡ Yes ➡ No ➡

↓ No

家庭でスマホのルールを親子で決めるようにしている？

↓

家庭・地域内であいさつ運動を行っている？

↓

こどもの家庭学習を親が確認するようにしている？

↓

家読を勧めて親子で内容を話す機会がある？

↓

親子で作るお弁当の日がある？

↓

PTA活動・学校行事に向けて親子が協力して事前準備を行っている？

↓

その他、家庭内での教育力の向上、親子のコミュニケーションを活性化する取り組みを行っている？

↓

がんばりましょう

活動内容がマッチするかわからない場合は、お問い合わせください

もうすでにあなたのPTAは**"新"家庭教育宣言**に取り組んでいる！！

MEMO

令和４年度
“新”家庭教育宣言事業報告

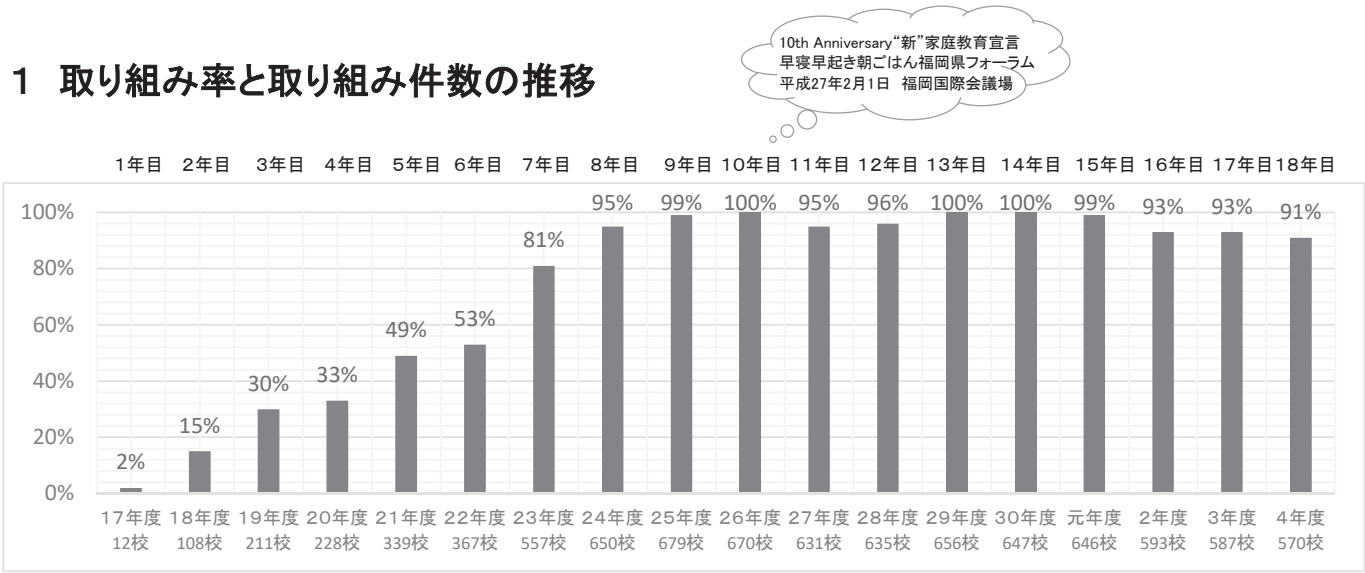
（１）取り組み概況

（２）アンケート結果報告

（３）推進活動費を受給した単位ＰＴＡの紹介

令和４年度“新”家庭教育宣言の取り組み概況

１　取り組み率と取り組み件数の推移



２　助成制度の推移

年　度	県P連から助成	県から助成	記　　事
平成　19年度	30校	72校	H19～20　福岡県からも助成
20年度	21校	75校	※アンビシャスふくおか家庭教育宣言事業
21年度	94校		
22年度	100校、6P連		H22～23　市町村等のP連単位でも助成
23年度	89校、2P連		助成金額　3万円/単P、20万円/P連
24年度	650校		H24～26　1万円/単P（宣言校）
25年度	679校		3万円/30単P
26年度	670校		※H24先着順、H25～26抽選
27・28年度	50校		H27～28　3万円/50単P　※抽選
29年度	43校		H29　1～5万円/43単P（143万円）※選考
30年度	47校		H30　1～5万円/47単P（150万円）※選考
令和　元年度	55校		R1　1～5万円/54単P（148万円）※選考
2年度	41校		R2　1～5万円/40単P（124万円）※選考
3年度	46校		R3　1～3万円/46単P（111万円）※先着
4年度	47校		R4　1～3万円/47単P（114万円）※先着

３　令和4年度 ブロック別取り組み状況

（義務教育学校・特別支援学校・分校は小学校へ加算）

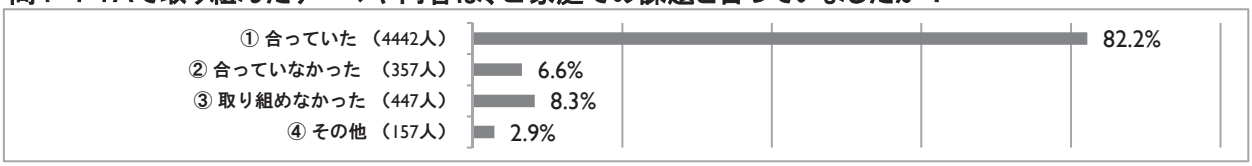
	単位PTA数			取組単位PTA数			取組率（%）		
	小学校	中学校	計	小学校	中学校	計	小学校	中学校	計
福　岡	120	55	175	98	34	132	82%	62%	75%
北筑後	80	33	113	76	26	102	95%	79%	90%
南筑後	89	33	122	87	32	119	98%	97%	98%
北九州	46	19	65	46	19	65	100%	100%	100%
筑　豊	56	30	86	56	29	85	100%	97%	99%
京　築	47	20	67	47	20	67	100%	100%	100%
計	438	190	628	410	160	570	94%	84%	91%

令和４年度 “新”家庭教育宣言アンケート結果報告

（対象：推進活動費を受給した単位 PTA）

保 護 者

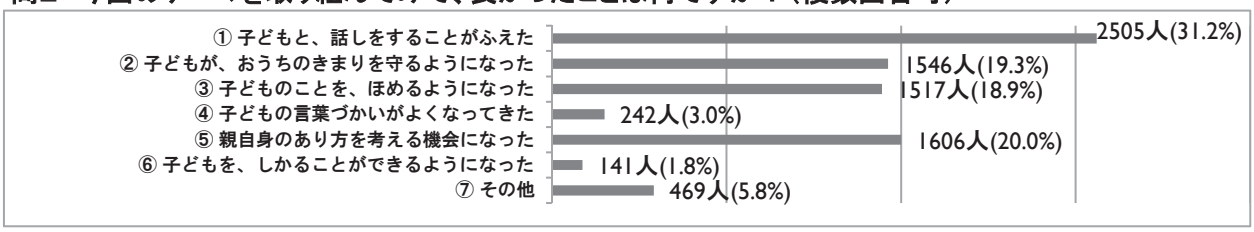
問1 PTAで取り組んだテーマや内容は、ご家庭での課題と合っていましたか？



④その他

・家庭でのコミュニケーションや笑顔につながった。
・子どもの苦手な部分がわかり一緒に取り組むことができた。
・課題と合っているが、なかなか取り組めなかった。できる限り意識して取り組みたい。

問2 今回のテーマを取り組んでみて、良かったことは何ですか？（複数回答可）



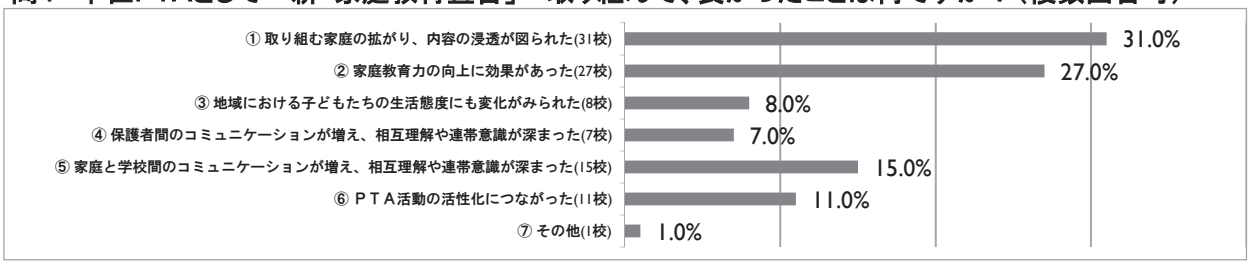
⑦その他

・子どもの自発的な行動を見ることができた。
・子どもと一緒に成長し楽しめる機会ができた。
・日々成長している子どもの現在の状況を知ることができた。
・親子で話し合い、協力や工夫しながら取り組むことができた。
・規則正しい生活と日々の積み重ねの大切さを改めて感じた
・子どもが我慢を覚えると同時に、ルールを意識した行動をとることができた。
・言葉にすることを普段なかなか出来ていない事に気づけた。
・共通の物を皆でﾒﾝﾃﾅﾝｽする必要性を自然に身に付ける第一歩になった。
・久しぶりに寝る前の読書会となり、読み合いながら話がふくらみ、楽しい時間を取る事ができてよかった。

問3 今回のテーマの取り組みを、ご家庭で今後も続けようと思いますか？

PTA会長

問1 単位PTAとして「“新”家庭教育宣言」へ取り組んで、良かったことは何ですか？（複数回答可）



⑦その他

・家族でテーマについて向き合い、会話が増えつながりが強固になった。
・読書の時間が増えたことで、スマホやタブレットを利用する時間が減ったのではないかと思う。

問2 今回の推進活動費により、ステップアップできたことは何ですか？

・子どもたちの自己肯定感の向上と、そのための保護者の意識の向上に働きかけることができた。
・新しい図書を購入し知識のアップデートにつながった。親子で本に触れることは心を豊かにします。日々忙しくしている保護者の方も、今回のような取組をPTAで行うことで、家庭で時間をつくり、子どもたちとゆっくり向き合い成長を直接感じる機会になった。
・保育園、幼稚園、小学校、中学校、高校へ共通デザインののぼり旗を作成して啓発活動を実施できた。
・全家庭に交通安全旗を配布し、交通安全指導を進めてきた。地域、家庭、子どもたちの交通安全に関する意識が向上してきている。
・キクイモ栽培をする畑の面積を増やすことができた。今回、キクイモの栽培から販売までを行っていったことで、子どもたちの「働くこと」「家族を持つこと」のイメージが「大変そう」から「働いて家族を支えたい」と変わっているように感じる。
・取組の結果をより詳しく保護者等に伝えることができた。
・子どもの笑顔がさらに多く見られた。

令和４年度　“新”家庭教育宣言　取り組み内容一覧
（推進活動費を受給した47単位PTA）

【福岡ブロック】

市町村立	学校名	実施項目・テーマ
福津市	福間南小	夏休み☆親子で生活習慣チャレンジ
古賀市	古賀東小	いきいきチャレンジ（はやね、はやおき、あさごはんチャレンジ）
春日市	春日小	①かすがっ子チャレンジ週間 「メディアの使い方を考えて、しっかり睡眠をとろう」 「チャレンジカードに取り組もう」 ②親子お弁当の日
筑紫野市	吉木小	吉木読み聞かせ週間の実施
那珂川市	片縄小	PTA・地域の協働の取り組み 健康・体力・安全の向上を目的とした「たくましさ活動」
糸島市	南風小	家族の会話を大切にしよう
	前原小	家読のススメ　～親子で読書を楽しもう！～

【北筑後ブロック】

市町村立	学校名	実施項目・テーマ
朝倉市	秋月小	心豊かで、かしこく、たくましい、地域から愛される子どもを育てる PTA 活動 ～大人が変われば、子どもも変わる～
小郡市	のぞみが丘小	親子の触れ合いアップ！！！（学校キャンプ）（餅つき）
	御原小	早寝　早起き　朝ごはん
久留米市	犬塚小	家庭の教育力アップ！　～親子のコミュニケーション活性化を目指して～
	水分小	笑顔で話そう・笑顔で挨拶しよう
	南小	家でも！学校でも！みんなでハッピー♪プロジェクト
	良山中	スローメディア運動の推進
	櫛原中	家庭でのスマホのルールを親子で決める

【南筑後ブロック】

市町村立	学校名	実施項目・テーマ
大川市	道海島小	ネット（ゲームやスマホ）は、家庭のルール（時間）を守って使おう
	宮前小	「挨拶いっぱい　宮前小」
	木室小	子ども達が夢や希望を持ち、心豊かでたくましく成長するために ～大川市家庭教育憲章に基づいた取り組み～
柳川市	城内小	家庭学習強化週間・うち読の取組
	豊原小	「スマイルチャレンジ」
	六合小	六合チャレンジ～朝ご飯100%～
大牟田市	上内小	○明るいあいさつの実施 ○食事の時は、TVを消す、ありがとうの日、親子の読書等の実施 ○家庭、地域、学校が一体となり心豊かで健康な子どもの育成
	三池小	子どもたちの笑顔と保護者の安心のために ～コロナ禍でも何かできる取組をみんなで少しずつ～
	明治小	「いのちの大切さ」について親子で学ぼう
	銀水小	登下校時の交通安全への意識向上
	駛馬小	『整活』のススメ
	白川小	早寝・早起き・朝ご飯週間
	天領小	子どもと家庭と学校と地域の和（輪）

【北九州ブロック】

市町村立		学校名	実施項目・テーマ
遠賀郡	芦屋町	芦屋東小	令和４年度版東っ子の「早寝･早起き･朝ごはんと家学（うちがく）で学力アップだ」大作戦
	遠賀町	広渡小	「早寝・早起き・朝ごはんとチャレンジカードで学力アップ」
	水巻町	机小	児童の学力向上を目指した家庭と学校との連携による「家庭学習強化週間」の取組
	岡垣町	内浦小	○芝生の維持・管理を学校と協力して進めよう ○サーフィンなど特徴ある行事を支援しよう

【筑豊ブロック】

市町村立	学校名	実施項目・テーマ
田川市	後藤寺小	早寝・早起き！朝ごはん！ノーメディア！
	中央中	家庭教育強調月間
飯塚市	椋本小	家族みんなの愛ことば、早寝 早起き 朝ごはん
	伊岐須小	地域に広げよう！　“花いっぱい運動”
	穂波西中	「思いやりのある豊かな心を育もう」というテーマのもと、学校を花と緑いっぱいにする活動を親子で行う

【京築ブロック】

市町村立		学校名	実施項目・テーマ
京都郡	みやこ町	犀川小	新しい学校をみんなで創ろう　～できる人が、できることを～
	苅田町	馬場小	親子で話そう　一緒に学ぼう　馬場学でつくる親子の時間 ～馬場学ノートの取組を通して～
	苅田町	南原小	家庭で話そう　つくろう　親子の時間 ～親子で一緒に調べよう！活用力アップノートの取り組み～
	みやこ町	勝山中	ノーメディアチャレンジ
豊前市		大村小	“新”家庭教育宣言　「早寝・早起き・朝ごはん」の取組 【家庭学習・生活リズム・お手伝い】【NOメディアウィークの取組】
		宇島小	「NOテレビ・NOスマホ」推進強調期間の取組
		角田小	鍛えてほめて伸びる角田っ子の育成
		千束中	ノーメディアデーの取組
築上郡	築上町	椎田中	ノーテレビ・ノーゲーム・ノースマホ～NNNチャレンジ～
		上城井小	親子で特産品のキクイモで食育を！

令和４年度
“新”家庭教育宣言実践報告会

【実践報告１】

「子どもと家庭と学校と地域の和(輪)」

～対話で育む人の繋がり～

【南筑後ブロック】
大牟田市立天領小学校父母教師会

令和４年度〝新〟家庭教育宣言実践報告　１

子どもと家庭と学校と地域の和（輪）

～対話で育む人の繋がり～

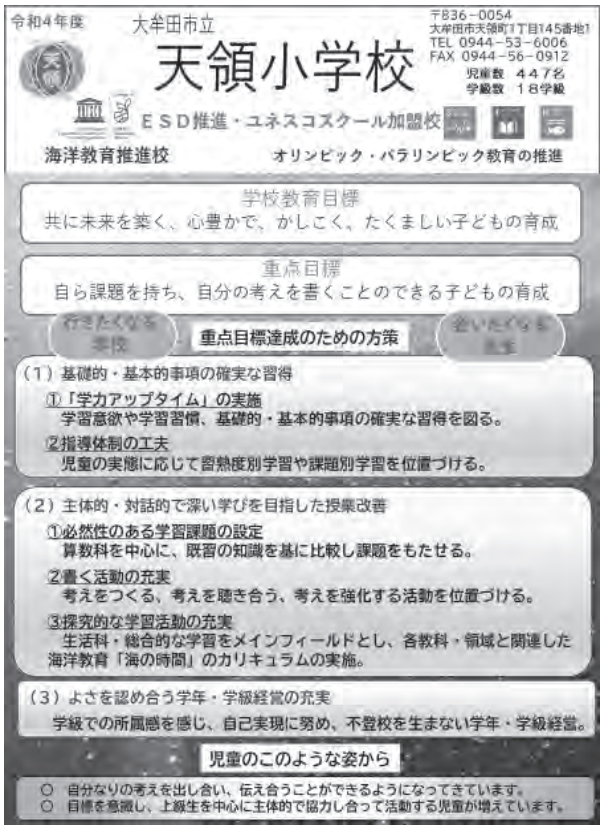
大牟田市立天領小学校父母教師会

１．　はじめに

（1）天領小学校について

天領小学校は、福岡県の南部の大牟田市にある小学校です。大牟田市は、九州のほぼ中央に位置しており、鉄道や幹線道路、港などの公共交通アクセスも充実し、九州一円どこへ行くにも便利なまちです。また、海あり山ありの豊かな自然、のんびりとした雰囲気でありながら充実した教育環境が整っており、世界遺産をはじめ歴史を伝えるまちです。

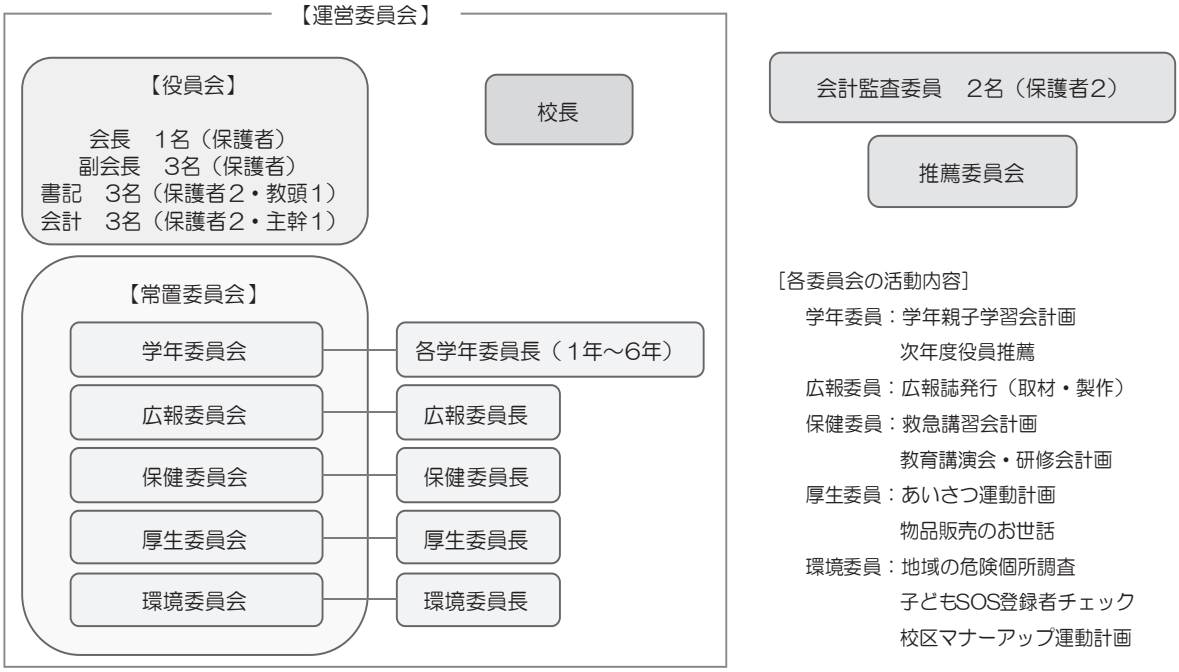
天領小学校の歴史は、旧川尻小 90 年と旧諏訪小 65 年の歴史を受け継いで、平成 22 年 4 月開校し、創立 13 年目となります。本年度の生徒数は 445 名（18 学級）で、大牟田市内で２番目に多い学校であり、平成 24 年 1 月 17 日にユネスコスクールに加盟し、海洋教育を中心に ESD（持続可能な開発のための教育）を推進している学校です。学校の特色の一つとして、地域と連携した教育の推進があり、郷土愛を育む地域行事や PTA 行事などの取り組みを行っています。



（2）天領小学校 PTA 活動について

令和４年度は　『家庭と学校と地域の協働により、心豊かな子どもたちを育てよう』　を PTA の基本目標とし、「できることを、できる時に、できる範囲で」をモットーに活動しています。

≪天領小学校PTA組織図≫



［各委員会の活動内容］

学年委員：学年親子学習会計画
　　次年度役員推薦
広報委員：広報誌発行（取材・製作）
保健委員：救急講習会計画
　　教育講演会・研修会計画
厚生委員：あいさつ運動計画
　　物品販売のお世話
環境委員：地域の危険個所調査
　　子どもSOS登録者チェック
　　校区マナーアップ運動計画

また、具体的な目標として、以下の３点を挙げています。

☆　子どもの安全を心がけ、明るく大きな声であいさつを交わそう。

☆　“新”家庭教育宣言「早寝・早起き・朝ご飯」の取り組みと合わせて、「いってらっしゃい・いってきます」の声かけを進めよう。

☆　会員相互の親睦を深め、人の和（輪）を広げよう。

2.　“新”家庭教育宣言の活動内容

（1）テーマ

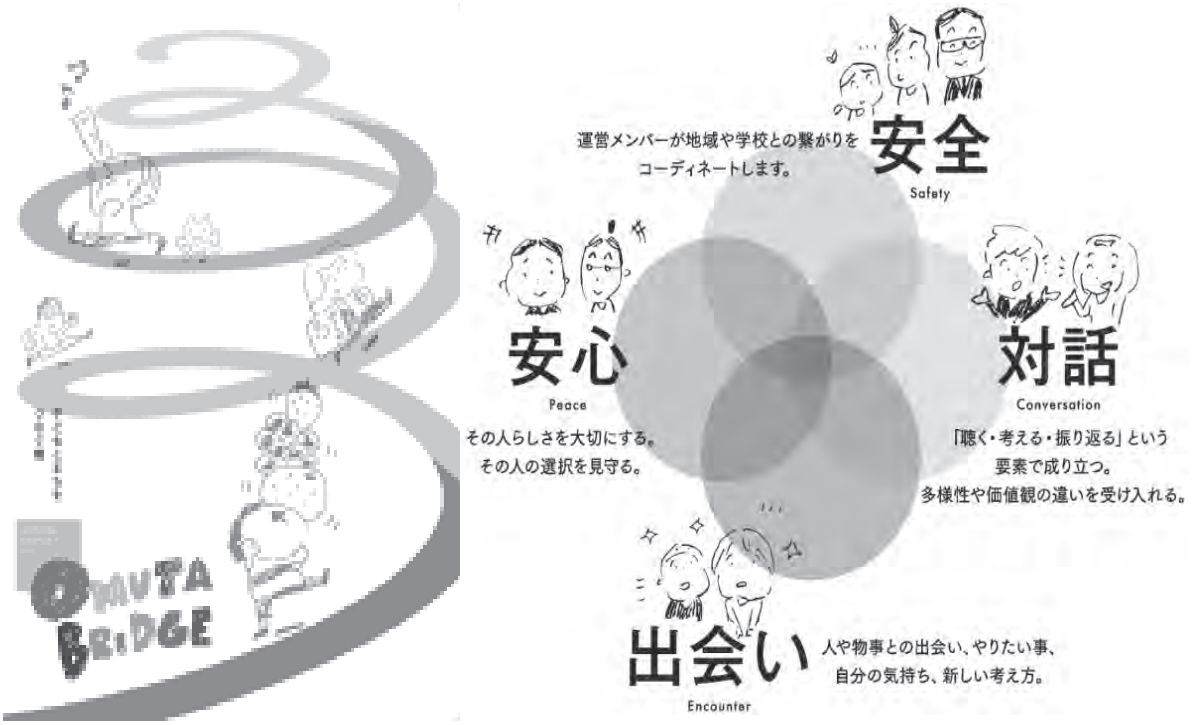
子どもと家庭と学校と地域の和（輪）

（2）取り組みについて

今年度の天領小学校 PTA の基本目標である「家庭と学校と地域の協働により、心豊かな子どもたちを育てよう」を実践するため、会員相互の親睦を深め、人の和（輪）を広げるきっかけとなる研修会を企画することにしました。

①　講師の選定

家庭内での親子の関わり方などの子育ての悩みをテーマに、家庭・学校・地域の役割について考えるために、大牟田市内で子どもたちの未来のために活動してある「OMUTA　BRIDGE」の菅原知之様と高口恵美様に講師を依頼しました。



★子どもへ橋をかけるプロジェクト★　　OMUTA　BRIDGE

［URL］https://www.omutabridge.org/

［講師］　菅原　知之
（一般社団法人 OMUTA　BRIDGE 代表理事、医療法人 CLS すがはら専務理事）
高口　恵美
（一般社団法人 OMUTA　BRIDGE 理事、
福岡県教育委員会　スクールソーシャルワーカースーパーバイザー）

② 事前アンケートの集約

研修会について、保護者の意向調査として、開催日の希望（平日 or 土曜日 or 日曜日及び午前 or 午後 or 夕方）や自由意見として講師に聞いてみたいことをアンケートとして集約しました。提出された自由意見の中には、「子どもとの接し方」、「褒め方や叱り方」、「家庭におけるルールの作り方、守らせ方」、「子どもの意欲を高める言葉かけ」、「家庭、学校、地域の役割」などの子育ての悩みが多く挙げられていました。

【研修会　開催日希望アンケート】

	平日（月～金）	土曜日	日曜日
午前（10時～）	16	15	8
午後（14時～）	13	11	9
夕方（18時～）	12	14	12

これらの意見を基に、講師と打ち合わせを行い、保護者同士の意見交換を含めたワークショップ形式の研修会にすることにしました。

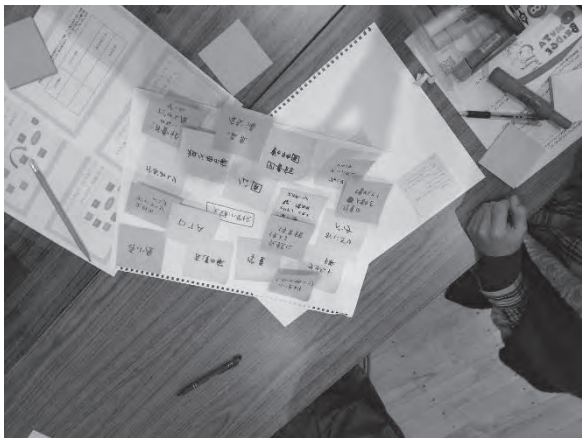
【研修会で講師の方に聞いてみたいこと】

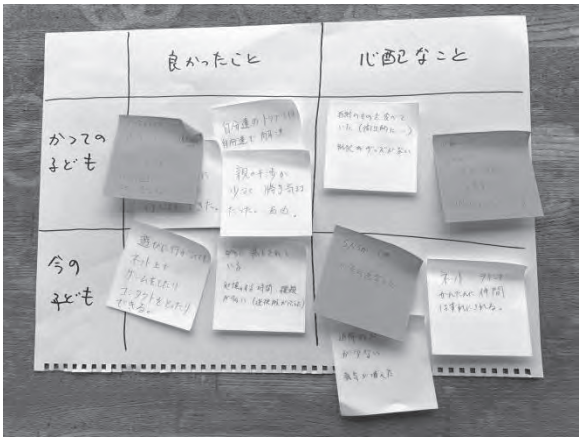
- 子どもの悩みや心配なことに親としてどうかかわって接していけばよいか。
- 子どもの叱り方、接し方（特に褒め方）。
- 約束を守れない子どもへの対応。
- 子どもの世話と仕事で疲れている時に子どもに怒ってしまうので、どのように自分の中で消化したらよいか。子育てで母親の時間も無くなる。少し大きい声が出てしまうと虐待につながるのではないかと自分を責める。母親も自由に使える時間があって、母親でも誰かから大切にされたいと思うことはわがままなのか。
- コロナ禍であたり前に通常できていた活動ができないなかでも実践できる活動がないか（野外活動、校内活動、親子活動）。昔と違って隣近所の関わりがないので、昔の知恵や遊びを子どもたちに教える方が欲しい。古き良き伝統が薄れてきているため、もっと日本人として古き良き時代のものにも触れさせたい。
- 家庭、学校、地域にはそれぞれ大切な役割があると思いますが、具体的に説明をお願いします。
- 好奇心持ったあとに「行動に移す」というのが難しくなっているなと感じます。「やりたい→やる」になるような声かけや考え方などがありましたらアドバイスいただきたいです。
- 現在、2年生の息子を子育て中の母親です。反抗期の子どもへの対応などのお話が聞けたらありがたいなと思います。
- 習い事についてです。自分の力を100%出し切る事や達成感を学んでほしくて、本人がイヤだと言っていますがまだ行かせています。素質は持っているようなので「力持っているから大丈夫！100%でやってごらん！」と言って、どうにか頑張らせようとしている状態です。誰にも負けてほしくないとか1位になってほしいなどは全く望んでおらず、今の自分の殻を破って「僕ってやれる！」ということを味わってほしいと思っています。どう向き合うか迷走中です。
- 集団の中でどこまで活動を一緒にさせていいか。
- 子どもの心の成長を促す家族の関わり方を知りたいです。

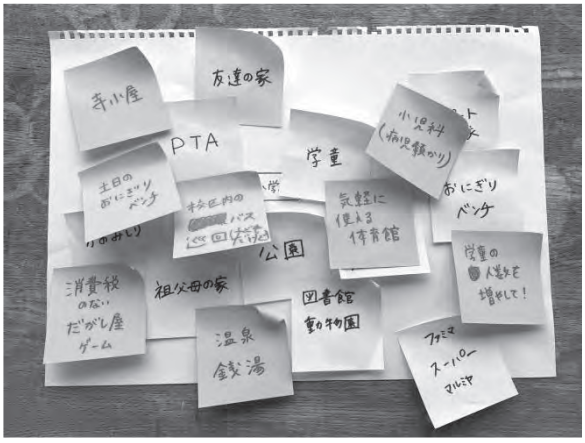
③ 研修会の開催

研修会の形としては、多種多様な意見が多く出るように、できるだけ違う学年の保護者が同じグループになるように参加者を７グループに分け、先生方も交えてグループディスカッションを中心に研修会を行いました。

研修内容は、社会環境の変化など、子ども達を取り巻く環境はどう変化しているのかを、今と昔を比較して対話することで、子ども達が置かれている環境の違いを理解し、その違いが「今の現状」に繋がっていることを知りました。そして、こんな今の時代のなかで、私たち大人や子ども達を取り巻く環境がどうなっていくといいかについて意見を出し合いながら検討しました。今私たちが繋がっている場（今ある資源）と今後あったらいいなと思う場（資源）を考え、「あったらいいな」をたくさん発見することができました。たくさんの資源が存在しているが問題はつながり方にあること、「あったらいいな」を実現させるためにまずできることは、誰かがしようとしていることを「応援する」ことだと知りました。







グループの中で色々話をすることで、自分から話して良かった、他の人の話を聞けて良かったという自分の思いに気付き、それが本当の『対話』だということを学びました。『対話』は子どもも大人も関係なく必要としており、子ども達との関わりにとって大切です。子ども達に安心安全な場を提供するために、子どもの思いに寄り添い引き出す大人が増えて欲しいという講師の思いを実現させるためにも、私たちが関わる地域にも『対話』を広げて、子ども達が安心して気持ちを表現できる地域にしていかなければならないと感じました。

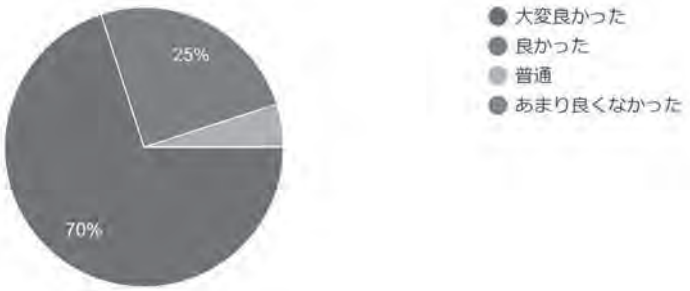
3.　成果と課題

（1）成果

研修会終了後、アンケートを行いました。グループに分かれてのディスカッション形式の研修では、色々な意見を聞いたり共有できたりすることでたくさんの気づきが生まれたこと、人と人との繋がりが地域活動を動かし子ども達を取り巻いていることを知る良い機会になったなどの意見が多く挙げられ

ました。なによりも、素直に楽しかったという言葉を聞けたことが大きな成果だったと思います。

グループに分かれてのディスカッション形式での研修はいかがでしたか。（1つだけ）
20 件の回答



- また開催して欲しい。
- 大変ママたちの発言にはハッとさせられ身が引き締まる思いでした。機会を与えて下さって有難うございました。
- 人と人との繋がりが地域の活動を動かしていることを知りとても良かったです！ありがとうございました。
- ディスカッション形式で色々な意見を聞いたり共有できてとても良かったです。たくさんの気づきがあり、とても貴重な時間を過ごせました。
- 他の親御さんから色々な話を聞いたり話したりできて、とてもいい時間でした。子育てにぶつかりながらやっていますが、それに対しての色んな意見を聞けて安心できたのも良かったです。
- 温泉が無理ならおにぎりべんちに足湯を作ろう。
- まずは対話をする時、否定しないを心がけます。
- 他の人の意見を聞いたり講義を聞くことができ、勉強になりました。
- 子供の話をまず否定や提案をせずに聞いてあげようと思いました。
- 自分の意見を自由に話し、他の人の意見も聞くことができて良かったです。子どもを取り巻く資源について、知らなかったこと、そう考えていなかったことに気づくことができました。
- 研修を通して、次第に意見が増えていき、同じ学校に子供を通わせている親同士、参考になる話ができました。私にとって良い機会になりました。ありがとうございました。

（2）課題

今回の研修では、参加者からは建設的な意見が多く出されましたが、世帯数に対する参加率が低いことがわかりました。また、グループディスカッションの中では、自分たちの住む地域のどこになにが存在するのかを知らないなど、地域との関わりが少ない印象を受けました。

大牟田市内では小中一貫教育制度の導入に向けて取り組みが始まっており、天領小学校も令和５年度からモデル事業校となります。「地域とともにある学校」の実現のためにもPTAとしては、学校と家庭と地域を繋ぐ立場になっていく必要があると思います。

4.　最後に

最近、色んなメディアで「PTAって必要？」などPTAの存在意義について取り上げられています。

PTA として学校と家庭と地域と関わることで、子ども達は保護者だけでなく、先生方や地域の方々など関わる全ての人に支えられていることを知る機会となります。また、PTA で交流することで子育てのネットワークが広がり、情報交換の場が作られます。

私達 PTA にできることは、主役である子ども達の成長を支え応援していくことです。子どもと家庭と学校と地域の和（輪）を広げるために対話を育みながら人の繋がりをつくり、今後も天領小学校の子ども達が心豊かに成長できるように活動してきたいと思います。

令和４年度
“新”家庭教育宣言実践報告会

【実践報告２】

大人が変われば、子どもも変わる

～親子で秋月チャレンジ～

【北筑後ブロック】
朝倉市立秋月小学校父母教師会

令和４年度〝新〟家庭教育宣言実践報告　２

大人が変われば、子どもも変わる

～親子で秋月チャレンジ～

朝倉市立秋月小学校父母教師会

１　はじめに

（１）秋月小学校の紹介

本校は、江川ダム建設に伴う江川小学校の閉校を機に、昭和４６年より江川・上秋月・秋月・安川の４小学校が統合し開校しました。昭和４７年に、現在地に秋月小学校が建設されました。

現在、校区は、「上秋月」「秋月」「安川」の３つで構成されており、悠久の歴史と山紫水明の豊かな自然に囲まれたやすらぎの環境で、温かい地域の方々に見守られながら子どもたちを育んでいます。

ＰＴＡ活動も盛んで、平成３年に「優良ＰＴＡ文部大臣表彰」を、平成２１年に「優良ＰＴＡ文部科学大臣表彰」を受賞しています。また、校地に付随する観音山の屋外ステージや草スキー場等遊具施設は歴代のＰＴＡ活動で設置し、子どもたちの豊かな体験の場となっています。

写真１【朝倉市立秋月小学校（令和４年現在）】

写真２【平成 21 年度文部科学大臣賞受賞記念碑】

現在、児童数は減少傾向で、令和４年度は児童数９５名（会員数６７世帯）で、最盛期の約６分の１となり、ＰＴＡ活動のあり方も工夫が必要となってきました。

（２）秋月小学校ＰＴＡ活動運営方針

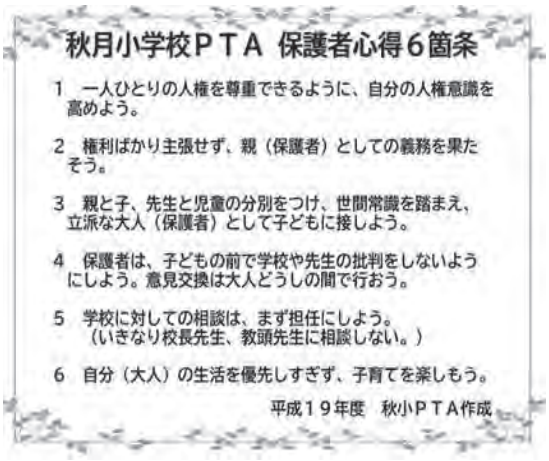
①　本年度のスローガンとＰＴＡ組織

＜本年度スローガン＞
心豊かで、かしこく、たくましく、地域から愛される子どもを育てる PTA 活動
～　大人が変われば、子どもも変わる　～
活動のキーワード　　元気なあいさつ・コミュニケーション

② 秋月小学校ＰＴＡ保護者心得６箇条

平成１９年に、当時のＰＴＡが、「秋月小学校保護者心得６箇条」を作成しました。これは、『親は子の鏡』、保護者一人一人が自らを見直し、これを共有することで、親として成長し、よりよいＰＴＡ活動が育まれるという思いのもと作成されたものです。

この「秋月小学校ＰＴＡ保護者心得６箇条」はこれまで、秋月小ＰＴＡの財産として受け継ぎ、今でもＰＴＡ活動の指針として大切にしています。



秋月小学校ＰＴＡ 保護者心得６箇条

1 一人ひとりの人権を尊重できるように、自分の人権意識を高めよう。

2 権利ばかり主張せず、親（保護者）としての義務を果たそう。

3 親と子、先生と児童の分別をつけ、世間常識を踏まえ、立派な大人（保護者）として子どもに接しよう。

4 保護者は、子どもの前で学校や先生の批判をしないようにしよう。意見交換は大人どうしの間で行おう。

5 学校に対しての相談は、まず担任にしよう。（いきなり校長先生、教頭先生に相談しない。）

6 自分（大人）の生活を優先しすぎず、子育てを楽しもう。

平成１９年度 秋小ＰＴＡ作成

資料１【保護者心得６箇条】

（３）特色を生かしたＰＴＡ活動

本校ＰＴＡ活動の大きな特色が、“連携”した活動です。委員会での連携はもとより、歴代ＰＴＡ役員会との連携、地域との連携、小中学校との連携を行っています。

＜歴代ＰＴＡ役員会との連携＞

① 「観音山を育てる会」の取組

観音山は学校の南側に位置し、約２５００坪の広さがあります。この観音山を子どもたちの学び・遊びの場として有効活用するために、ＰＴＡで定期的に整備を行ってきました。昭和５９年には、屋外ステージを設置し、子どもたちの集会活動や小中合同でのコンサートなどを実施してきました。樹木の生長に伴って、遊具等の使用はできなくなりましたが、子どもたちは、学習や遊びを通して観音山で多くの体験をしています。また、歴代ＰＴＡ役員有志が中心となって立ち上げた「観音山を育てる会」と連携しながら、環境整備を行っています。

写真３ 【観音山を育てる会の活動】

＜地域との連携＞

② 防犯強化ポイント看板の補修・設置

秋月校区において人通りが少ない地域を対象に防犯強化ポイントを選定し、啓発看板を作成・設置し、注意を呼びかける取り組みを行っています。毎年、健全委員会が中心となって、看板の補修や新たなポイントへの看板の設置を行い、子どもたちや地域への防犯意識の啓発を行っています。

写真４【ＱＲコードで閲覧できる防犯強化ポイント】

③ 地域コミュニティとの連携

地方委員会が中心となり、「上秋月」「秋月」「安川」の３地区それぞれで、地域の特徴を生かしながらコミュニティや各種団体と連携し、地域を愛する子どもを育てるために、親子活動や地域での行事に取り組んでいます。

写真5【コミュニティと連携した行事】

④ 防犯パトロール

秋月校区には、「地域の子どもは地域で守る」という強い思いのもと発足した

秋月中学校区青少年育成補導協議会が行う「防犯パトロール」活動があります。

月、水、木、金の午後３時頃（子どもたちが下校する時刻）から３名で青パトに乗車し、校区を巡回しながら子どもたちの安全を見守ります。月曜日と金曜日は、ボランティアの方や地域の保護司、民生・児童委員の方が乗車します。

小学校のＰＴＡは当番を決め毎週水曜日に、中学校のＰＴＡは、第１・３・５の木曜日に乗車し巡回しています。

写真５【青パトでの防犯パトロール】

＜小中連携＞

⑤　リサイクル活動

年３回（６月・９月・２月）実施のリサイクル活動のうち、６月と２月は、小中合同で実施します。本年度６月５日（日）のリサイクル活動は、小学校が中心になって実施しました。９月は小学校のみで、２月は中学校が中心となって行います。会員の減少に伴い課題も出てきましたが、できる方法を考え実施し、財源の確保に努めています。

⑥　５，６年生海山交流　福岡市北崎小学校との交流

本校では、平成１６年度から、福岡市西区の北崎小学校と「海山交流」を行っています。海のある学校と山のある学校が互いに行き来して交流を深めています。毎年、６年生は秋月小学校で、５年生は北崎小学校で、４年生はダム見学や小石原への見学を通して交流しています。

この海山交流では、ＰＴＡ同士の交流も行っており、毎年交互に交流会を実施しています。子どもだけでなく、ＰＴＡ同士のつながりも深めています。

２　「“新”家庭教育宣言」の取組～親子で秋月チャレンジ～

「“新”家庭教育宣言」の取組は、学年委員会と健全委員会で推進しています。委員会からチャレンジカードを配付し、各家庭でチャレンジ活動を行います。その後委員会でチャレンジカードを回収して集計しお便りを作成し、配付しています。お便りには、集計結果だけでなく、子どもや保護者の感想ものせ、楽しんで読んでもらえるようにしています。

実践については、年間を通じて行えるように次のようにしました。

５月の連休明けの１週間は、健全委員会による「生活リズム点検」を行いました。チェック項目は、「自分で起きたか」「歯磨きをしたか」など基本的な生活習慣に関する内容です。

７月は、学年委員会が、「早寝・早起き・朝ごはん」を行いました。期間は、夏休みに入った１週間とそれぞれの家庭で決めた１週間の計２週間です。

また、学年委員会は年間を通して、親子読書活動を行いました。毎月第２週目を親子読書週間として「親子読書カード」を活用し、家庭での読書に取り組んでいます。

３　具体的な取組

（１）親子で秋月チャレンジ１「生活リズム点検」

＜目的＞

点検表をつけることで、連休明けの子どもの生活習慣を親子で整えようとする意識を高める。また、子どもたち自身が自分の生活習慣と健康に関心を持ち、保護者も日々の家庭生活を振り返ることで、その充実に努める。

＜活動計画＞

○　ゴールデンウィーク明けの１週間(5 月 6 日～5 月 12 日)に、子どもの生活リズムの実態調査を行う。各項目に、できた(○)できなかった(×)のチェックや、睡眠時間の記録、感想を書いてもらったものを提出してもらう。

○　各学年の委員が○×の数と睡眠時間の集計を行う。それをもとに「健全委員会だより」を作成し、発行する。

「生活リズム点検」について

（　　）年・名前（　　）

	朝、自分で起きましたか	朝、顔を洗いましたか	朝、ごはんを食べましたか	その日、うんこがでましたか	歯みがきをしましたか 朝	歯みがきをしましたか 夜	夜は、何時間ねましたか
5月6日（金）	○	○	○	○	○	○	10 時間
5月7日（土）	○	○	○	○	○	○	10 時間
5月8日（日）	○	○	○	○	○	○	9 時間
5月9日（月）	○	○	○	○	○	○	6 時間
5月10日（火）	○	○	○	○	○	○	8 時間
5月11日（水）	○	○	○	○	○	○	8 時間
5月12日（木）	○	○	○	○	○	○	8 時間

点検をしての感想（子ども）

（保護者）

資料２　【生活リズム点検表】

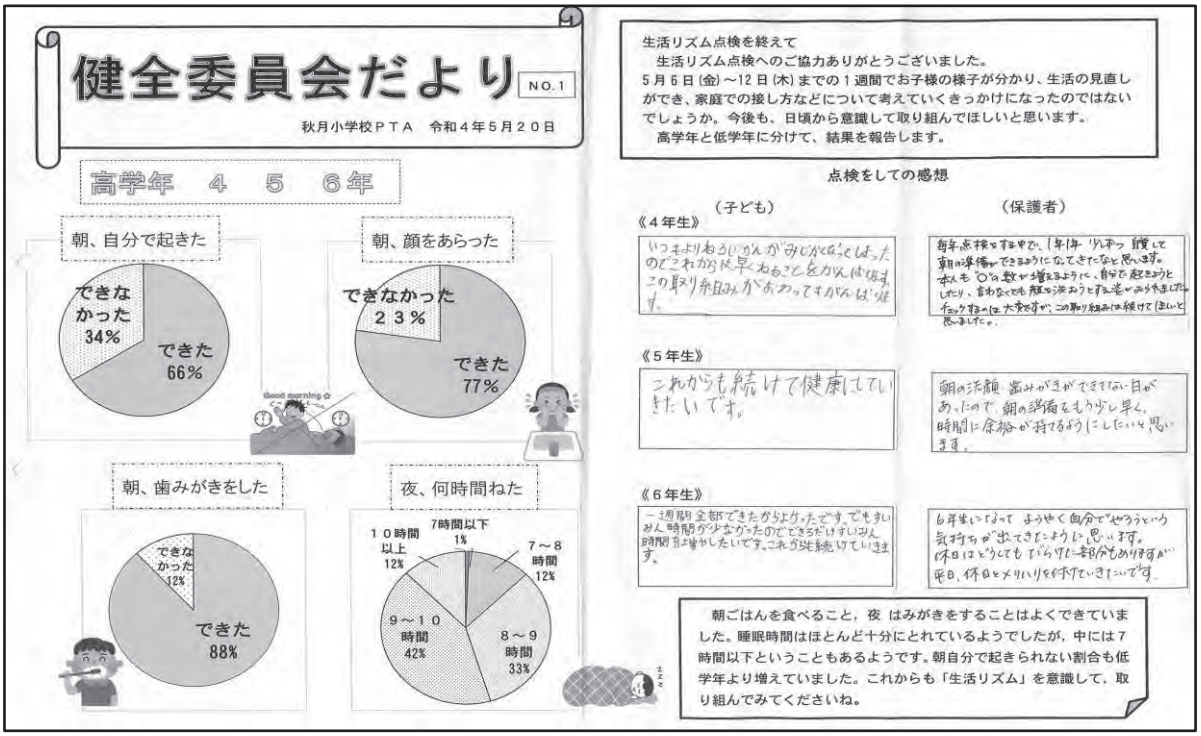
○子どもの感想

・毎日顔を洗ったり、歯みがきができたりしてよかったです。これからも続けたいです。

・自分で起きられず起こしてもらっていたので、今度からは目ざましをかけたり夜ねるのを早めたりしたいです。

○保護者の感想

・リズム点検をすることにより、登校するまでの時間の使い方に気を付けるようになりました。



健全委員会だより　NO.1

秋月小学校ＰＴＡ　令和４年５月２０日

高学年　４　５　６年

朝、自分で起きた

朝、顔をあらった

朝、歯みがきをした

夜、何時間ねた

生活リズム点検を終えて

生活リズム点検へのご協力ありがとうございました。

5月6日(金)～12日(木)までの１週間でお子様の様子が分かり、生活の見直しができ、家庭での接し方などについて考えていくきっかけになったのではないでしょうか。今後も、日頃から意識して取り組んでほしいと思います。

高学年と低学年に分けて、結果を報告します。

点検をしての感想

《４年生》

《５年生》

《６年生》

朝ごはんを食べること，夜 はみがきをすることはよくできていました。睡眠時間はほとんど十分にとれているようでしたが，中には７時間以下ということもあるようです。朝自分で起きられない割合も低学年より増えていました。これからも「生活リズム」を意識して，取り組んでみてくださいね。

資料３【健全委員会だより】

子供と一緒に点検表をつけることで、親子で生活を振り返ることができ、改善点に気付き、今後の生活に活かそうとする意識を高めることができました。点検表から生活面で改善すべきことは明らかになりましたが、今後は、「健全委員会だより」に、改善するためにどうすればいいのかなどのアイディアを載せて各家庭が継続し

て取り組むことができるようにしていきたいと考えています。

（２）親子で秋月チャレンジ２　「親子読書」

＜目的＞

親子で本に親しむ機会を通して心のふれあいを図ると共に、読書への意欲を高め、豊かな感受性を育む。

＜活動計画＞

５月から１月までの毎月第２週目を親子読書週間とし、親子読書カードを学校から配付・回収を行う。２月にアンケートを集計し、学年委員便りを発行する。

※　令和２年度より親子読書推進の為に保護者向けの図書館開放を行っています。

保護者の皆様

令和４年５月９日

綾歌市立秋月小学校
学年委員会

おやこどくしょ
親子読書2022

今年度も親子読書の取組みを行います。毎月第２週を親子読書週間とし、黄色いカードを毎月第２週の月曜日に配布してもらいます。その後、次の週の月曜までに回収、学校保管をします。配布されてある１週間のうちで都合のよい日時を決め、親子読書をされてください。
期間は５月～１月（８月は自由実施）で、スタートは５月９日（月）（回収は５月１６日）です。２月にアンケートをとります。

今年度も公会堂の図書館開放がありますので、ぜひ活用されてください。また、第６次『家庭教育宣言』の「親子読書を通して親子の会話を増やし、親子みんなで成長しよう。」にあるように、親子の絆を深めるための機会とされてください。

★配布回収予定日　学校や学年の行事等の関係で変更になる場合もあります。

配布日	回収日	備考
５月９日（月）	５月１６日（月）	
６月６日（月）	６月１３日（月）	
７月４日（月）	７月１１日（月）	
９月１２日（月）	９月２０日（火）	夏休み分図書返却後
１０月１１日（火）	１０月１７日（月）	
１１月７日（月）	１１月１４日（月）	
１２月５日（月）	１２月１２日（月）	
１月１６日（月）	１月２３日（月）	冬休み分図書返却後

資料４【学年委員会だより】

おやこどくしょ
親子読書2022

年　組　番名前（　　）

よんだ日		だいめい		
5月	日			
6月	日			
7月	日			
8月	日			
9月	日			
10月	日			
11月	日			
12月	日			
1月	日			

※毎月、第２週が親子読書週間です。
※読み終わったら本に貼付しましょう！

資料５【親子読書チャレンジカード】

○子供の感想
・いろんな本を読んでもらい、親子読書っていいな、と思った。・特別な時間ができた。
・一人で読むより楽しかった。・お布団の中で読むのを楽しみにしていた。
・お母さんが物語に出てくる人物によって声を変えて読んでいたのがおもしろかった。
○保護者の感想
・子供の興味に気づくことができました。　・会話が増えました。
・文字の多い本を読めるようになっていて成長を感じることができた。
・読む本を一緒に借りに行き、読むこと以外でも親子の時間が取れてよかった。

「６年間親子読書がとても良い機会になった。」という意見が多く、親子で読書を楽しむ取組となっているので今後も継続して推進していきたいと考えます。アンケートにある「学年おすすめの本を知りたい。」「どんな本を読んだらよいか分からない」等の意見については、ＰＴＡの図書館開放の機会を活用して、子どもと一緒に本を選んだり、図書司書の先生の話を聞いたりすることについて検討しています。また、カ

ードについては、配付・保管の仕方について担任の先生と連携し１年間活用できるようにしたいと考えています。

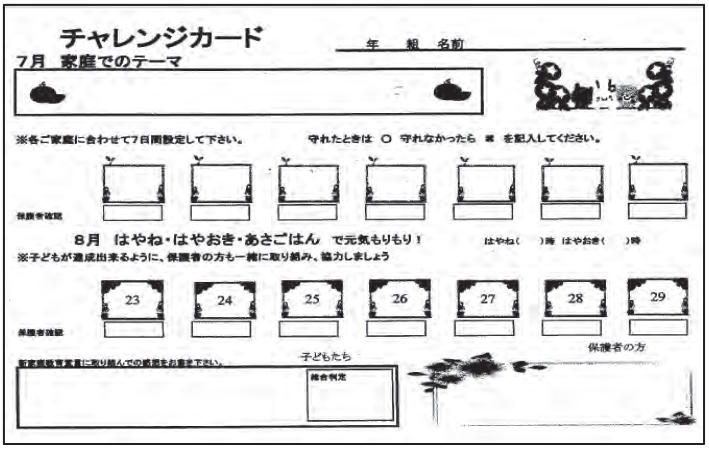
（３）親子で秋月チャレンジ３　「早寝・早起き・朝ご飯」

＜目的＞

「教育の基本は家庭にあり」という基本を保護者が再認識し、ＰＴＡの活性化と家庭教育の充実を図る。

＜活動計画＞

夏休みにチャレンジカードを配付し、各家庭で決めたお手伝いと「早寝、早起き、朝ごはん」にチャレンジする。保護者は子供が取り組めるように声かけ等を行う。９月にチャレンジカードを集計し、学年委員便りを発行する。


チャレンジカード　年　組　名前

7月　家庭でのテーマ

※各ご家庭に合わせて7日間設定して下さい。　守れたときは ○ 守れなかったら ● を記入してください。

保護者確認

8月　はやね・はやおき・あさごはん　で元気もりもり！　はやね（　）時　はやおき（　）時

※子どもが達成出来るように、保護者の方も一緒に取り組み、協力しましょう

23	24	25	26	27	28	29

保護者確認

子どもたち　保護者の方

新家庭教育宣言に取り組んでの感想をお書き下さい。　総合判定

資料６【チャレンジカード】

○子供の感想
- 食器洗いをして、きれいになってすっきりした。
- 翌日の準備をするチャレンジをしたら、忘れ物がなくなってきました。

○保護者の感想
- チャレンジカードがあることで、子供も親も意識的に行うことができて良かった。
- 夏休み中、毎日お手伝いをしてくれました。ありがとう。

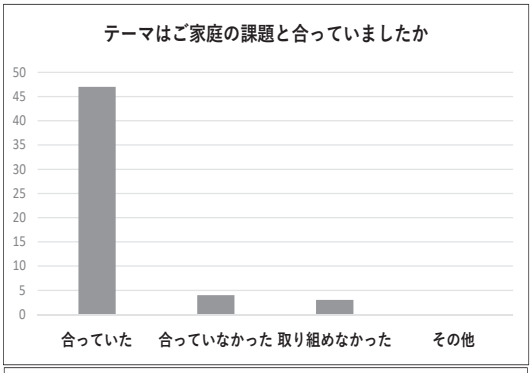
テーマへの取り組みを通して、親子のかかわりを大切にしながら、子供の頑張りをほめることで、子供のチャレンジ意欲につなげることができました。

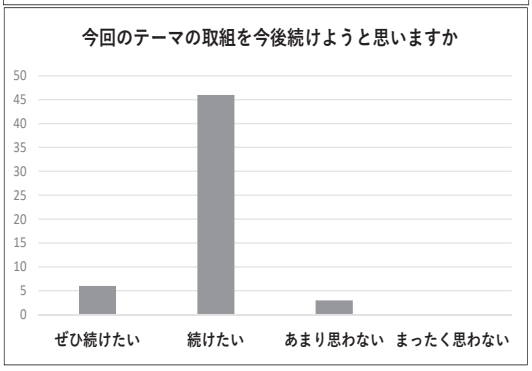
４　成果と課題

○　３つのチャレンジはほぼ家庭の課題にあっており、学期ごとにテーマを設定したことで、家庭の基本的な生活習慣作りとしても効果的でした。継続することで、読書活動など良い習慣が身についています。

○　チャレンジ活動は、生活を見直したり、親子の絆を深めたりする機会になっています。また、委員会のお便りで各家庭の取組の様子がわかり家庭生活の在り方として参考になっているようです。今後も全校で取り組めるよう委員会で工夫して推進していきます

●　今後取り組んで欲しいテーマとして、金銭教育、IT 教育等の要望があるので、次年度の取組内容として検討していきます。また、中学校と連携した取組も計画していきたいと考えています。





資料７【“新”家庭教育宣言アンケート結果】

令和４年度
“新”家庭教育宣言実践報告会

【実践報告３】

ノーメディアチャレンジ

～家庭学習習慣の定着に向けて～

【京築ブロック】
みやこ町立勝山中学校PTA

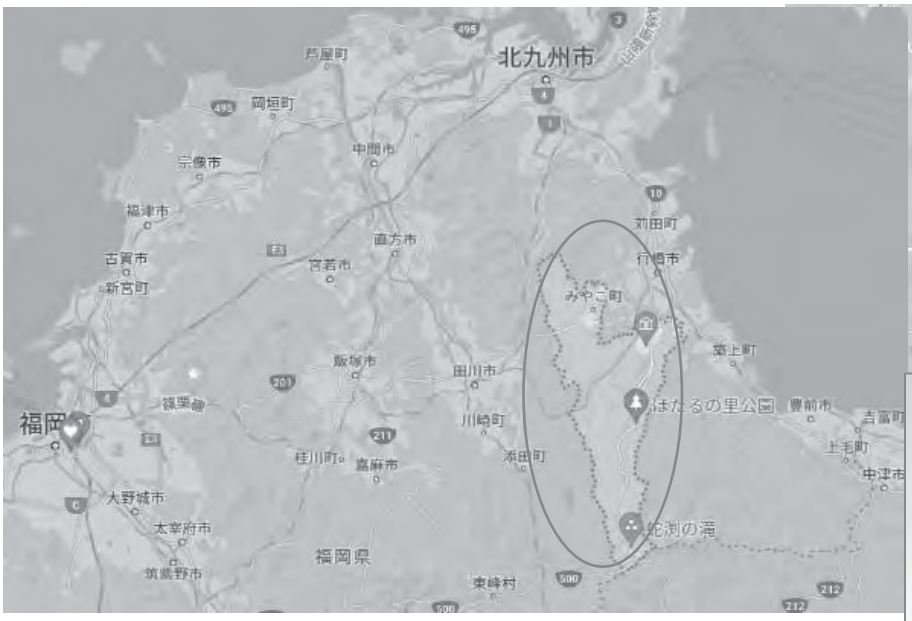
令和４年度“新”家庭教育宣言実践報告　３

ノーメディアチャレンジ

～家庭学習習慣の定着に向けて～

みやこ町立勝山中学校ＰＴＡ

１　学校紹介



人と世帯の動き

住民基本台帳から見る人口と世帯数
令和４年９月末現在

人口	18,482人	（±0）	〔-337〕
男	8,777人	（+ 2）	〔-155〕
女	9,705人	（- 2）	〔-182〕
世帯数	8,417世帯	（+ 2）	〔- 81〕

（　）は前月比、〔　〕は前年同月比

本校は、福岡県の東部に位置する京築地区のみやこ町にある４つの中学校のうちの一つです。学級数は、８学級（特別支援学級を含む）で、全校生徒１４４名の小規模校です。

学校周辺には，全国でも有数の古墳や縄文・弥生時代の遺跡が多く点在し，山と田園に囲まれた風光明媚な自然環境にあります。

校区の中心部には，行橋市と筑豊を結ぶ２０１号線や椎田・勝山線が通っていて、近年は交通量も増加の一途をたどっており，かつての静かな農村地区が交通の要所になってきています。

本校区は，農業が主産業ですが，ほとんどが兼業農家です。町民を雇用する企業が少なく，行橋や北九州市方面に勤務する保護者が多くいます。

地域住民の教育に関する熱意は大きく，学校教育に協力的です。祖父母と同居している家庭も多く見受けられますが，世代間の意識差は大きくなっています。

また、部活動が盛んで全校の８０％を超える生徒が８つの運動部・文化部に所属して活動しています。県大会へ出場する部も毎年あります。

本校のPTA活動・組織

２　本校のＰＴＡ活動

毎年４月に総会を行います。主に審議事項は、三役会、理事会、評議員会で行い、活動は各専門委員会が行いますが、コロナ禍でここ数年は思うよ

うな活動ができていません。今年は、３年ぶりに紙上ではなく、対面で総会をようやく行いました。

それぞれの委員会の活動は、主として体育大会、文化祭と関連したものが多かったのですが、残念ながら、二年続けて PTA の活動を自粛することとなりました。本校の例年の PTA 活動の主なものは、ご覧のとおりです。コロナ禍で昨年も本年もほとんどの PTA 行事を行うことができませんでした。その中でも行うことができたのは、理事会と除草作業と保護者全員持ち回りで行う「愛の声かけあいさつ運動」でした。

本校の例年のPTA活動

	事業・内容	備考
1学期	◎PTA総会　○理事会、評議員会 ○町PTA連合会総会 ◎除草作業（体育大会に向けて） ◎体育大会との関連係 ◎教育講演会企画 ○新家庭教育宣言応募 ○県PTA連合会総会参加 ○九州PTA大会参加	○ノーメディアチャレンジ
2学期	◎除草作業 ◎文化祭との関連係 （カレー炊き出しバザー） ○町レクレーション大会参加 （ソフトバレー） ◎研修視察　○理事会、評議員会	○ノーメディアチャレンジ
3学期	○新家庭教育宣言報告会参加	○ノーメディアチャレンジ

３　テーマの選定

本校が PTA “新” 家庭教育宣言をはじめた当初は、他校のＰＴＡと同様に「早寝、早起き、朝ご飯」と言った生活習慣に関するものに取り組んでいました。それをしばらく踏襲していましたが、以前から、家庭での学習時間が少ないことやゲームや SNS や YouTube 等のメディアへの生徒の依存が問題となっていた実態がありました。そこで、家庭学習の習慣の定着のきっかけとなるように、定期考査の前・中１週間は、「ノーメディア・チャレンジ」として、家庭でのスマホやタブレット等のメディアを使う時間を意識的に減らしていく取組を考えました。そして、それは生徒本人だけではなく、家族みんなで取り組んでいくことを基本としました。そうすることで、日頃のメディアの使用を減らす意識を持ってもらうことを期待しました。

勝山中学校　ノーメディアチャレンジ（２学期期末考査）

取組期間　令和４年１１月１９日（土）～１１月２４日（木）

本校では、子どもたちの家庭学習を充実させること、ご家庭でのコミュニケーションの時間を大切にさせることを目的として、定期考査期間に「ノーメディアチャレンジ」を実施しています。さらには、Youtube や LINE をはじめとした SNS、インターネット、ゲーム、テレビなど様々なメディアとの関わり方を見直す機会として考えています。加えて、PTA「新」家庭教育宣言でも行っており、昨年度は 75%の保護者より肯定的な回答を頂きました。

今回は、２学期期末考査期間に合わせて １１/１９（土）～２４（木）の６日間 で取り組みます。ご家庭におきまして、スマホやゲームなどの時間を控えることで家庭学習を充実させると共に、ご家庭でのコミュニケーションをいつも以上に大切にする機会にしていただきたいです。

ご協力よろしくお願いします。

「学習以外でのスマホ（SNS、インターネット等含む）を使用した時間」や「ゲーム、電子書籍（まんが等）を使用した時間」について、該当するものを選んで記入してください。

S … 学習以外の目的でのスマホやゲーム等を全く使用していない。
A … 学習以外の目的でのスマホやゲーム等を使用した時間を１時間以内に抑えた。
B … 学習以外の目的でのスマホやゲーム等を使用した時間を１時間は越えたが２時間以内に抑えた。
C … 学習以外の目的でのスマホやゲーム等を使用した時間を２時間は越えたが３時間以内に抑えた。
x … 学習以外の目的でのスマホやゲーム等を使用した時間が３時間を越えた。

	１１/１９（土）	１１/２０（日）	１１/２１（月）	１１/２２（火）	１１/２３（水）	１１/２４（木）
各日の目標						
メディアを使用した時間						
自分の感想						
保護者の感想						

４　取組

ノーメディアチャレンジ　～　家庭学習習慣の定着に向けて　～

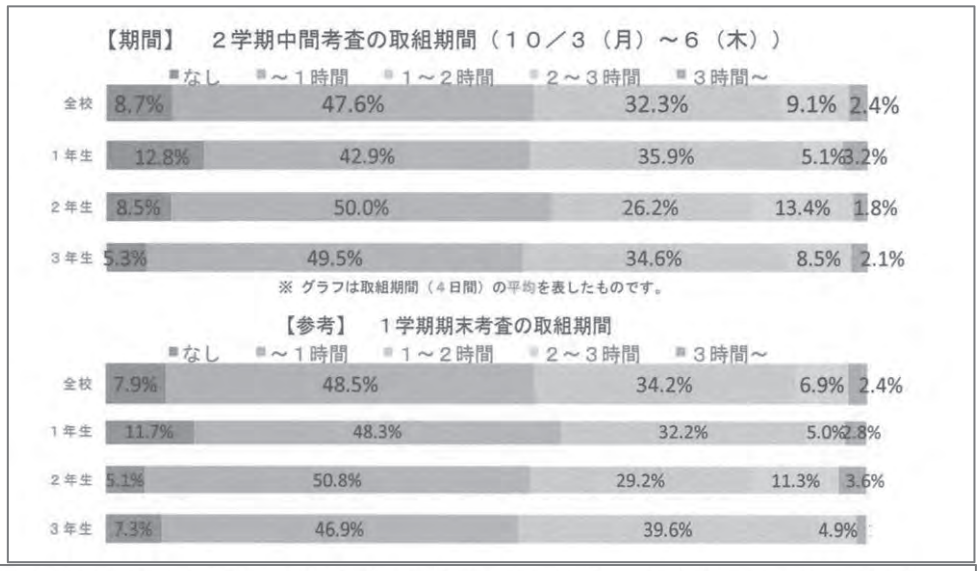
定期考査前中の１週間、スマホ、タブレット、パソコン等の使用を自主的に制限することにより、

定期考査の学習に集中しようという取組です。

図のようなワークシートを配り、自分の目標を考えさせて実施しました。また、校区の３つの小学校にもお願いをして、生徒だけの取組ではなく、家族での取組としての協力をお願いしました。

５　調査結果の考察

右のグラフと下の考察は、毎回取組が終わるたびに、各家庭へ配布してこの取組への理解を深めています。



２学期中間考査時の取組期間においては、全校生徒の**約55%**が考査前・考査中にメディアを使用する時間を**１時間以内**に抑えることができています。１学期期末考査期間と比較すると若干下がっていますが、全く使用しない割合が増加しているので、「この期間は使わないように」と意識している生徒が増えているようです。特に２・３年生は１時間以内に抑えている割合が１学期期末考査期間より上がっていますが、１年生は若干下がっています。さらに、１・３年生は３時間以上の割合が増えているので、考査期間に限らず、スマホやタブレット等の使用時間や使用方法を見直して、より良く使用できるようになってもらいたいと考えています。

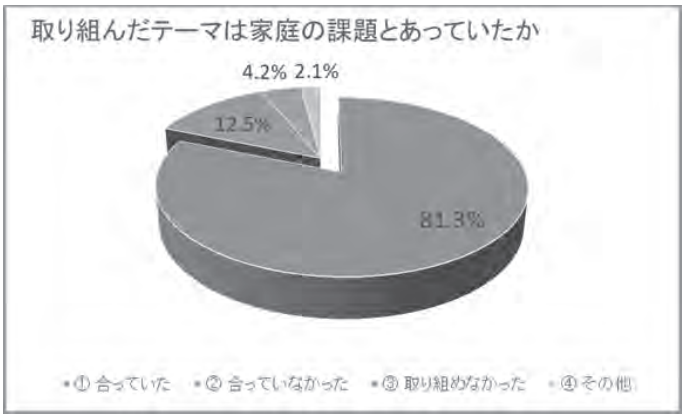
今回は、「**次はＳを取りたい**」というお子様の感想と、それに対し「**しっかり振り返って次に生かしてほしい**」という保護者の方の感想が多くありましたが、その中でも「**意識して勉強時間を増やすことができた**」というお子様の感想に対し「**よく取り組めていました。使っていない分、机に向かっていたようで良かったです**」という保護者の方の感想も見られ、お子様の取組を温かく見守っていただけている様子が伝わるものもありました。

２学期期末考査に向けて、計画的に学習が行えるよう、引き続きご家庭でもお声かけ等をお願いいたします。

６　“新”家庭教育宣言アンケートから

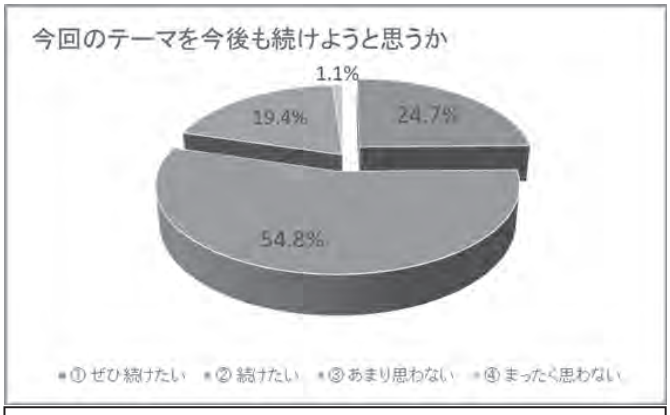
県 PTA から毎年依頼があり、１２月に行っている「“新”家庭教育宣言アンケート」から以下のような保護者の声が寄せられています。

まず、約８割の家庭から「家庭の課題とあっていた」という回答があり、また、同じく約８割りの家庭から「今後も続けようと思う」という回答がありましたが、例年、この値は、ほぼ同じ割合となっています。



＜保護者の声＞

・ありがとうございました。
・スマホ依存は避けたいので、取組はいい機会と思うが、表を埋めるだけに形骸化してきている。
・日常生活を振り返る良い期間となりました。親子共に見直す所に気づけて良かったです。
・制限がないよりあった方が子どもの気持ちが違うと思うので良いと思います。
・取組で少しでも守れると本人の自信にもつながると思う。
・自主勉の量が増えたように感じる。
・色々と考えて取り組むので、本人にも親にも良いと思う。

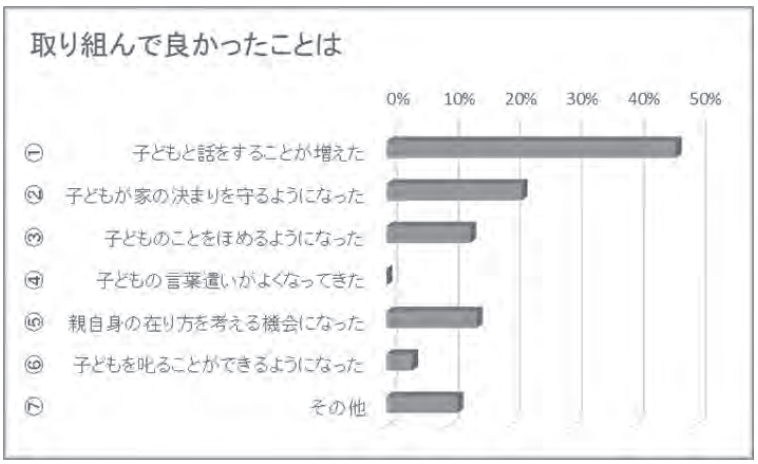


・今の子どもたちがどれだけメディア漬けにされているかがよく分かった。早くメディア漬けの毎日がもったいないことだと気づけばいいが・・
・子どもと向き合うきっかけを作ってくださりありがとうございました。

保護者からは、「子どもの実態把握ができた」とか「日常生活を見直すきっかけになった」とか「今後も続けてほしい」というように肯定的な意見がある一方で、「形骸化している」とか「我が家には必要ない」とか「祖父、祖母と同居している中で、テレビを消すのは無理」と言った否定的な意見もある。しかし、妹さんが小学生にいるある家庭の母親から「来週は、中学校の期末考査があるからノーメディアを頑張らんといけんね」という発言が我々の耳に入り、とても嬉しく感じたこともあった。

＜学習以外の効果＞

① 子どもと話をすることが増えた。
② 子どもが家の決まりを守るようになった。
③ 親が子どものことをほめるようになった。
④ 親自身の在り方を考える機会になった。



これらの回答の結果は、私たち学校が当初は想定していなかった回答であり、学習以外の効果を感じることができた。そして、改めてこの取組の必要性を再認識した。

7　成果と課題

この取組を始めて、５年が経過し、中身も徐々に変更しながら取組を継続して、取組は定着して来ているように見える。そして、生徒の学習に取り組む姿勢等を見ていると一定程度の成果は、感

じられる。また、次のリーフレットのようにみやこ町からの支援もある。しかし、アンケートの回答にあるように、取組が形骸化していて成果の見られない生徒や家庭ぐるみで取り組むことができていない家庭があるのも事実であり、今後の課題であると感じている。

よりよい家庭学習の環境をつくりましょう

児童生徒の家庭学習の充実や定着には、落ち着いて学習できる環境づくりが必要です。みやこ町では、町内すべての小中学校で学力向上の第一歩として家庭学習の環境作りに努めます。

１０/６（木）・７（金）は、

勝山中学校の２学期中間考査です

考査前３日と考査中は
ノーメディアチャレンジ期間

○ 家族が協力して落ち着いた学習環境作り
○ 小学生も中学生と一緒にノーメディアチャレンジ

➡ **家族で過ごし方を工夫**

ノーメディアチャレンジは、みやこ町全小中学校で行います。子どもが学習に集中できるよう、協力して落ち着いた学習環境を作りましょう。

【家族で会話】

【家庭学習】

【読　書】

みやこ町学力向上検証委員会
みやこ町ＰＴＡ連絡協議会

MEMO

家庭教育委員会の願い

一致団結

ひとりはみんなのために
みんなはひとつの目的のために

この『目的』とは各事業ごとに多様であり、子どもの成長や保護者の学びを得る機会は様々です。
目的を持って“新”家庭教育宣言に取り組んでもらえるように『目的』と表記しています。

ガイラルディアの花言葉

協力・団結

福岡県PTA連合会